

ACCESS サンプル・プログラムご利用手順

この手順書は、MC Helix チュートリアルファンクション<アクセス>に記載された環境設定を前提に記述されています。ご利用の前に、チュートリアル内容をご確認ください。

(サンプル・プログラム名)

不表示要素・点の一括削除（バッチ形式）

(機能概要)

図面内の不表示要素を一括削除することができる機能です。

削除要素の対象を不表示要素のみ、又は表示・不表示両方を指定することができます。

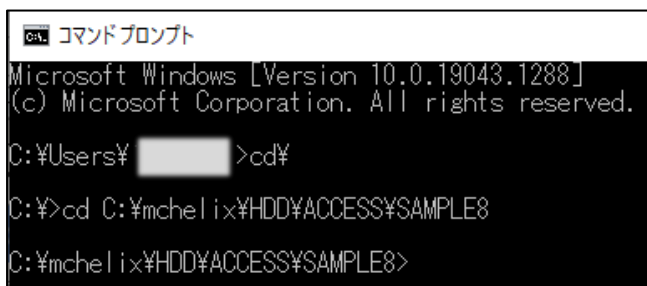
(環境設定)

1. 「不表示要素・点の一括削除(バッチ)」フォルダを開く
2. ご利用中の MC Helix に合った「Win32」または「Win64」フォルダを開く
3. ファイルのコピー先として下記のフォルダを作成する
C:¥mchelix¥HDD¥ACCESS¥SAMPLE8
4. 上記 2. で開いたフォルダ内の全ファイルを、上記 3. で作成した SAMPLE8 フォルダにコピーする

(操作手順)

(注) MC Helix で開いている図面に対しては実行されません。あらかじめ図面は閉じてください。

1. コマンドプロンプトを起動して実行する
(例) Windows のスタートボタンから「Windows システムツール」を選択し、プルダウン表示されるサブメニューの「コマンドプロンプト」をクリック
3. ディレクトリを C:¥mchelix¥HDD¥ACCESS¥SAMPLE8 に変更



```

C:\> コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.19043.1288]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users¥> cd¥

C:\> cd C:¥mchelix¥HDD¥ACCESS¥SAMPLE8
C:¥mchelix¥HDD¥ACCESS¥SAMPLE8>
```

4. コマンドを入力する

(例－1)：不表示要素すべてを削除する場合

> MCERSELM FROM=C:CAD,TRAIN DWG=SAMPLE,DWG ID=CADAM,CADAM TYPE=A SHO=0

実行プログラム 区画：グループ,ユーザー MC 図面名 ユーザーID,パスワード 対象要素 表示状態

```
コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.19043.1288]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\¥>cd¥
C:\¥>cd C:\¥mchelix¥HDD¥ACCESS¥SAMPLE8
C:\¥mchelix¥HDD¥ACCESS¥SAMPLE8>MCERSELM FROM=C:CAD,TRAIN DWG=SAMPLE,DWG ID=CADAM,CADAM TYPE=A SHO=0
C   CAD  TRAIN  [SAMPLE          DWG ]   Complete
C:\¥mchelix¥HDD¥ACCESS¥SAMPLE8>
```

(例－2)：図面内の全ての点要素を削除する場合

> MCERSELM FROM=C:CAD,TRAIN DWG=SAMPLE,DWG ID=CADAM,CADAM TYPE=100 SHO=A

実行プログラム 区画：グループ,ユーザー MC 図面名 ユーザーID,パスワード 対象要素 表示状態

```
コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.19043.1288]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\¥>cd¥
C:\¥>cd C:\¥mchelix¥HDD¥ACCESS¥SAMPLE8
C:\¥mchelix¥HDD¥ACCESS¥SAMPLE8>MCERSELM FROM=C:CAD,TRAIN DWG=SAMPLE,DWG ID=CADAM,CADAM TYPE=A SHO=0
C   CAD  TRAIN  [SAMPLE          DWG ]   Complete
C:\¥mchelix¥HDD¥ACCESS¥SAMPLE8>MCERSELM FROM=C:CAD,TRAIN DWG=SAMPLE,DWG ID=CADAM,CADAM TYPE=100 SHO=A
C   CAD  TRAIN  [SAMPLE          DWG ]   Complete
C:\¥mchelix¥HDD¥ACCESS¥SAMPLE8>
```

(入力コマンド解説)

削除対象の指定は、下表のキーワード「TYPE」および「SHO」のパラメータにより指定できます。

キーワード	指定値	内容
MCERSELM		実行プログラム名
FROM[F]	区画名: グループ名, ユーザー名	処理する図面の格納場所の指定
DWG[D]	図面名	MC 図面名形式の図面の図面名 区切り文字 (コンマ) を省略して、20 文字の図面名を指定することも可能です。指定した図面名が 20 文字未満の場合、末尾に空白文字が付加されます。
ID[I]	ユーザーID,パスワード	ログオン情報
MSG[M]	ログファイル(省略可)	処理結果を出力する時のパス+ファイル名を指定 (例) MSG=C:\¥MCADAM¥mcerselm.log
TYPE[T]	対象要素	処理対象とする要素の種別 A: 全要素を対象にする 100: 点要素のみを対象にする
SHO[S]	対象要素の表示状態	処理対象とする要素の表示状態 A: 表示・不表示両方の要素を対象にする 0: 不表示要素のみを対象にする

(備考) スペースを含むパス名、図面名は「”(ダブルクォーテーション)」で囲むことで入力できます。

(制限事項)

1. このサンプル・プログラムは Windows 版 MC Helix が対象です。
2. MC 図面名形式のみが対象です。
3. V2 図面および保護属性 (RO,LK,PW) が付いている図面は対象外です。
4. ビューや子図の指定はできません。(図面全体に対して削除処理を行う)
5. 次の不表示要素は消去されません。
 - 座標軸
 - グリッド
 - オフセット・スプラインの元になっている楕円またはスプライン
 - アプリケーション名「USERP」と指定されたセットに含まれている要素
 - 子図の基準点と方向指示点
 - 拘束が定義されている要素
 - 部品内の不表示要素
6. 他のモジュールが処理中の図面を更新すると、図面がファイルできないことがあります。
7. このサンプル・プログラムを実行した場合、図面は上書き保存されるため図面を元に戻すことはできません。(処理前には図面のバックアップを行うなどの管理をご検討ください)

以上